

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子育てフォーラム
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 松本青年会議所 郷土愛育み委員会 長野県松本市中央1-23-1 松本商工会館3F 電話090-2464-1616
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,090,144円 (うち支援金: 823,000円)

事業内容 子育てフォーラム

親学への認知度が低い中、参加者に親学の理解を深めるとともに、必要性の提言と実践までをサポートすることを目的に、親学にはじめて触れる方にも段階的に理解を深められるよう、テーマを持ったの2部構成にしました。

第1部 「親学とは何か」

第2部 「親として大切なこと」

まとめ



(活動写真)

【ディスカッションの様子】

【目標・ねらい】

- ①「親学」の必要性の理解を深める。
- ②成長してもらうきっかけとなる場を提供する。
- ③多角的な親としての在り方を知ることで意識変革につなげる。

※自己評価【B】

【理由】 親学を松本市民にどう伝えていくかを考えたとき、まずは親学という言葉の意味と、他の親はどういうことを考えているのかを知ってもらい、そのうえで親の意識の変革が必要と考えました。そこで、著名人での集客を狙い、より多数の人に親学というもののハードルを低くし知ってもらう場を提供できたと考えます。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①現状を理解してもらうことで、親学の必要性の理解は深まった。
- ②パネルディスカッションを通して、パネリストの考えや具体的な行動を知ることができ、参加者の問題点の自覚と対処に気付くことができ、成長のきっかけとしてもらうことができた。
- ③参加者の質疑でも様々な考えがあることに気付き、自分の考える子育て環境や姿勢のほかにも考え方があることを知ることができ、意識変革の一助となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も継続的に親子で取り組む事業を通じて、親子関係の向上、親の学び、子どもの成長につながる事業を展開します。そこに向けての第1弾として本事業を行いました。またSNSやHPを通じて、今回の事業の広く発信し、長期的に支援できる環境を創りました。

結果、9月の「親子DEワイナリー体験」という事業にも多くの方に参加していただきました。

さらに様々な親子での体験型事業を計画していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある